

青少年教育について

林 茂

〔質疑〕青少年は地域社会ではぐくむといった視点に立ち、青少年が多様な人間関係の中で社会性を培っていく環境づくりを推進していくことが重要である。次代を担う青少年の健やかな成長は、市民全ての願いであり、青少年を健全に育成することは市民全体の責務でもある。そこで、

- ① 青少年の健全育成に向けてどのように取り組んでいるのか。
- ② 関係団体、ボランティア団体等への活動内容は何か。
- ③ 青少年の健全育成を促進するために最も必要なことは何だと思ふか。

〔答弁〕①市内の小・中学校、高等学校、PTA、それから白石警察署のほかに青少年に関係のある諸団体と連携をとりながら、健全な育成を図ろうという形で活動している。

②関係団体では、市民会議、市民のつどい等の開催、青少年相談センターを中心としながら相談活動、有害な図書を見ないという運動の推進をやっている。地域の皆さんには、子供たちの下校時間に合せて、駅、公園、大型店舗等で巡回の活動をやっていただいている。

- ③命の大切さとか善悪の区分、人間としての基本的な倫理観を、幼児期から最も大事な部分として教えていくことが大事と考えている。そういう意味で、幼少期からの家庭教育の充実、そして地域の教育力アップに現在努力している。
- 〔その他の質問〕
- ① 課題が山積している地方自治体の人材育成等について
 - ② 学校評議員の活動とその成果について



中学生・高校生からの提言・意見発表

いきいきプランについて

吉田 貞子

〔質疑〕いきいきプランは、国の雇用対策の一環として補助金が3年間交付された。市は終了後も、教育部門において単独で継続してきた。

- ① 今後、どのように考えているのか。
- ② 幼稚園、小中学校等から要望事項などでているのか。教育委員会では、どのような議論になっているのか。
- ③ 現時点では、教育的に補助を必要とするところに配置されているようだが、目的の拡大の意向はあるのか。

〔答弁〕現在、小学校に4人、中学校に1人、幼稚園に3人、計8人の補助教員を配置して、障害を持つ児童・生徒の日常生活、学習指導への支援を行っている。各学校からの報告によると、学校教育の活性化、それから一人一人に行き届いた教育を実現する上では非常に助かっているという声を聞いている。

それでは、もっと拡大できないのかということであるが、定例の教育委員会の中に、障害児指導だけではなくて読書活動の支援にももっと必要ではないか、学校等の要望が強く出ているということもある。現在、議論してみた。現在、教育委員会では、学校支援ボランティア等のボランティアをたくさん募集しながら、応援しているので、その辺も含めながら現在検討している。

- 〔その他の質問〕
- ① 公務員の賃金制度改革について
 - ② 市民サービス向上のための職員の提案について
 - ③ 給食センターの民間委託について

② 幼稚園、小中学校等から要望事項などでているのか。教育委員会では、どのような議論

しているのか。それでは、もっと拡大できないのかということであるが、定例の教育委員会の中に、障害児指導だけではなくて読

